

あけましておめでとうございます

校長 垣崎 晃

あけましておめでとうございます。ご家族で、よい年をお迎えのことと存じます。

活力にあふれた子供たちが石神井小に戻ってきました。本年も子供たちが元気に一人一人輝く笑顔で学校生活を有意義に過ごせるよう、教職員一同力を合わせてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

さて、正月の風物詩として「年始回り」はなじみの深い行事の1つです。始まりは古く、奈良時代には、年始に挨拶という習慣があったそうです。平安時代頃からは年の始めにお世話になった人や親族の家を回って挨拶をする年始回りの習慣も広まりました。これは大正時代あたりまで広く行われ、正月は挨拶のために行き来する人々で通りが混雑するほどだったと言われていました。これらのことから、挨拶は人と人をつなぐ、とても大切なものとされていました。

江戸時代になると付き合いが広くなり、書状で挨拶を済ませることも増えていきます。新年を祝う書状を届けるのには飛脚が活躍しました。また、この頃には玄関に「名刺受け」を設置し、不在時にはお祝いの言葉を書いた名刺を入れてもらうという簡易スタイルも登場しました。現在でも仕事の年始回りでは「謹賀新年」など賀詞入りの名刺を使うこともあります。このように、年始回りを簡略化したものが年賀状のルーツだと言われています。

その年賀状は昔から大切な人と交わされてきました。そこには人とのつながりを大切に、相手を思いやる日本人の心が表れています。

この風習、一体いつから始まったかを調べてみますと、年賀状の歴史は古く、平安時代までさかのぼります。現存する日本最古の年賀状といわれるのが、平安時代の学者である藤原明衡（あきひら）が作った手紙の文例集『庭訓往来（ていきんおうらい）』の中にある正月の文例。「春の始めの御悦び、貴方に向かってまず祝い申し候」（春始御悦向貴方先祝申候訖）とあります。

年賀状を出すことが一般にも広がったのは、明治4年の郵便制度開始がきっかけだそうです。明治6年に郵便はがきの発行が始まり、明治20年頃には年賀状も激増しました。元日の消印をねらって年末に投函する人も増え、郵便局員たちは文字通り、不眠不休で消印作業にあたりました。

そこで取り入れられたのが、現在と同じように年末のうちに受け付けて元日に配達する年賀郵便の特別取扱いです。明治32年に導入され、徐々に全国に広がりしました。その後、お年玉付年賀はがきが昭和24年12月から発行されるなどして、すっかり国民的行事になりました。メールやラインが普及した現在でも年賀状の販売枚数は国民一人あたり約10枚、販売されています。日本の伝統として、大切にしていきたいものです。

子供たちから先生たちに届いた年賀状には、気持ちを新たに今年の目標を掲げてあるものも多かったと聞いています。夢に向かうためには、自分に負けない心、負けて転んでも再び起き上がる勇気や強さをもつことが大切です。学び続ける力をつけること、豊かな感性を育てていくこと、たくましく伸びていくこと等を育てられる土壌づくりが必要であると考えます。どうぞ、みなさま今年もご支援ください。よろしく願いいたします。

1月の行事予定	
<p>9日(火) 3学期始業式 給食始 4時間授業 身体計測(6年)</p> <p>10日(水) 身体計測(5年) 委員</p> <p>11日(木) 身体計測(4年)</p> <p>12日(金) 安全指導日 身体計測(3年) ※足形測定</p> <p>13日(土) 学校公開日 道徳授業地区公開講座</p> <p>15日(月) 全校朝会 薬物乱用防止教室(6年) 身体計測(2年)</p> <p>16日(火) 朝読書 身体計測(1年)</p> <p>17日(水) クラブ活動</p> <p>18日(木) 体育集会 避難訓練</p> <p>19日(金) 5時間授業</p> <p>20日(土) 小連合図工展始</p> <p>22日(月) 全校朝会 校内書きぞめ展始 社会科見学(3年)</p> <p>23日(火) 朝読書(読み聞かせ)</p>	<p>24日(水) クラブ活動(3年見学・6校時)</p> <p>27日(土)・28日(日) 連合書きぞめ展 遊び</p> <p>29日(月) 全校朝会</p> <p>30日(火) 朝読書</p> <p>31日(水) 委員会活動(2月分) *1月の避難訓練は予告なしで実施</p> <p>【2月の主な予定】</p> <p>1日(金) 社会科見学(4年)</p> <p>5日(月) 社会科見学(5年)</p> <p>10日(土) 学校公開日</p> <p>14日(水) 4時間授業(教育会研究会のため)</p> <p>15日(木) 社会科見学(6年)</p> <p>16日(金) 入学説明会 *1・2年4時間授業</p> <p>19日(月) 保護者会(1・3・5年)</p> <p>22日(木) 保護者会(2・4年)</p>

校内書きぞめ展

冬休み中にも、書きぞめの練習に取り組んだことと思います。1月に学校で書きぞめを行い、その作品を廊下に展示します。今年度も、区の連合書きぞめ展が開催されます。各学年の優秀作品は、石神井小の代表として練馬区立美術館に展示されます。その後、校内でも再度展示予定です。ぜひご覧ください。

校内書きぞめ展

令和6年1月22日(月)～2月16日(金)

15:30～16:30の間にご参観ください。

連合書きぞめ展

(書写主任 原 多紀)

1月27日(土)～28日(日) 練馬区立美術館

詳しくは学校から配付されるお手紙をご覧ください。

150周年に向けて

令和6年度に150周年を迎えます。盛大にお祝いするために、地域・PTAで構成する「周年実行委員会」と教員で構成する「周年校内委員会」で様々な準備を進めています。これまで、児童のみなさんに協力してもらい、150周年キャラクターやポスターを作成してきました。これからも少しずつ、確実に準備を進めていきます。

(周年校内委員長 大出 あきみ)

練馬区小学校連合図工展について

昨年に引き続き、今年度も連合図工展が行われます。図工の学習で作った作品から選出した20点を出品します。別紙案内をお読みの上、ご来場ください。

会期 令和6年1月20日(土)～25日(木)

*22日(月) 休館日

会場 練馬区立美術館

(図工主任 大出 あきみ)

道徳授業地区公開講座について

今年度は、1時間目または2時間目に道徳授業公開を予定しています。どちらかの時間が道徳の授業です。また、3時間目は、6年生、保護者対象に体育館で特別授業を予定しています。詳細は、学校公開の便りをお読みください。よろしくお願いたします。

日時：令和6年1月13日(土)

1・2校時(授業公開)

3校時(6年生、保護者対象特別授業)

(道徳主任 栗野 裕子)

音楽発表会

12月8、9日に音楽会を開催しました。当日はご多用の中、多くの保護者の皆さまにおいでいただきまして、ありがとうございました。

音楽会当日、子供たちは緊張しながらも満足のいく演奏ができ、とても嬉しそうな笑顔を見せていました。毎日コツコツと練習に取り組むことで、出来ないところが出来るようになり、次第に子供たちの表情も引き締まっていきました。その集大成として、本番は素晴らしい演奏をお届けすることができました。

また、児童鑑賞日には、体育館に全校が集まり、各学年の演奏を生で鑑賞しました。それぞれの学年の演奏を、目を輝かせながら、音楽に吸い込まれるように身を乗り出して聴いている子供たちの姿に胸が熱くなりました。

音楽会のご感想もたくさんお寄せいただき、感謝いたします。ご感想の文面から多くの方に感動していただけたことがうかがえ、子供たちや教職員の励みとなりました。前半、後半の限られた時間での鑑賞でご不便をおかけしましたが、十分にご理解いただき、子供たちを精一杯応援してくださったこと、感謝いたします。

(音楽会委員長 永田 いずみ)

委員会・クラブ活動について

委員会活動では、それぞれの委員会がよりよい学校生活を送るためにアイデアを出して行うものと常時活動などがあります。常時活動では、休み時間もそれぞれの委員会の子供たちが当番活動を行っています。自分の仕事人が人のために役立っているという実感がわき、仕事を通し高学年としての意識が高まりました。

クラブ活動は、6年生中心に活動内容を話し合い活動しています。3学期にクラブ発表を控えているため、より一層活発的に活動していきます。緊張気味だった4年生も今では、すっかり慣れ生き生きと活動しています。子供たちの自主的、自発的な活動を大切に、最後まで活動ができるようにしていきます。

(特別活動主任 大山 聖絵)